

公 民 [倫 理] (100 点 50 分)

2003 年 5 月 23 日 (金) 2 限実施

千葉県立千葉東高等学校 第 3 学年 1,3,4,5,6,7,8,9 組対象

Produced by K.Kataoka

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - 学年，組，名前を記入する。
 - 学年，組の該当個所をマークする。
 - 出席番号をマークする。(10 番以上は 10 の位と 1 の位の 2 カ所)
 - 男女の欄をマークする
 - 1.2.3 枚目のところはマークしない。
 - 停・欠・遅・早のところはマークしない。
 - 機械の読みとりミス確認のため、解答欄はマークの左側に番号を記入しておく。以上が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

倫 理

(解答番号 [1] ~ [50])

第 1 問 次の文章を読み下の問い (問 1 ~ 問 1 0) に答えよ。(配点 22)

「哲学」を意味する語フィロソフィアがもとは [ア] を意味するギリシア語であったように、ヨーロッパ哲学は、古代ギリシア哲学にその起源をもっている。ギリシア文明に先だつエジプトやバビロニアの文明において農耕、航海、建築などの技術はすでに高度の発展を遂げていたが、技術の成立する構造・仕組みを尋ね、(a)これを成り立たしめているもっとも単純な原理から理解しようとしたのはギリシア人であった。これは、事物をすぐに利用しようとする実用の態度ではなく、(b)観想の態度によって生まれたものであり、ここにギリシア人のロゴス的な態度の特徴がある。

ギリシアにおける哲学的思索は、先進文明国であるアジアの諸国との接触が密接であった小アジアのイオニア植民市において、前 6 世紀のころに始まった。この時代の哲学者は、存在する事物の原理を、生成し消滅する存在者がそこから成り立っている第一の原理に求め、これを自然とよんだ。自然とは、生成する事物がそのように生成するものとして、われわれの目の前にありありと現れている場合に、その「現れ」としての存在がそれに基づいて成り立っている、事物の「生まれ」であり「成り立ち」である。これによって事物は、われわれに隠された神秘的由来に基づいて、(c)「神々からのもの」として理解されること (神学的・神秘的説明)をやめ、われわれにとって明白な存在においてその根拠を開示されるもの (哲学的・合理的説明) となった。

[イ] はこの万物の「成り立ち」である自然を「水」であるとし、[ウ] は「無限なもの」とした。これらは、万物がそこから生まれ出るという意味で万物の「生まれ」なのであった。

ピタゴラス派では、万物の「成り立ち」は事物を構成する形式的な原理である数に求められる。世界は相反する諸性質の間に生まれる数的な調和 (= 比例、ロゴス) である。(d)ヘラクレイトスは、生成し消滅する存在者をその生成し消滅する過程の全体においてとらえようとした。それゆえ、存在者を成り立たせるものは同時にその反対の非存在でもあり、世界は相拮抗する相反者の間に成り立つ動的な調和としてとらえられる。これが世界の「ロゴス」である。

エレアの Parmenides は、これまでの哲学者のように存在を感覚において現象するものとして把握するのをやめ、[エ] を明らかにした。これこそが存在の真実性であり、感覚的現象は虚像にすぎない。ここに、感覚に現象する生成・消滅する事物の「成り立ち」としての「自然」を求めた最初の哲学者たち、すなわち自然哲学者とよばれる人々の思索は頓挫し、哲学は新たな端緒を求める。

パルメニデス以後、ギリシアの哲学は、〔A〕パルメニデスの論理を追究し、運動の存在を否定した弁証論者、〔B〕パルメニデスに従い、根源存在の不変性を認めたとうえで、これを多元化することによって、その相互関係の変化によって自然世界の多様性を救おうとした多元論者、〔C〕自然学の伝統とは関係なく、ことばの機能を説得（魂の誘導）に置く弁論術の伝統に基づき、すべてのことばを人間存在に関係づけて理解し用いた (e)ソフィスト上の三派に分かれ、低迷を続けた。

問1 文中の空欄〔ア〕に入るもっとも適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔1〕

学問 根源 探究 愛知

問2 文中の下線部(a)を意味する言葉として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔2〕

プシュケー アレテー ドクサ アルケー

問3 文中の下線部(b)に関して、このギリシア人の態度についての記述として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔3〕

事物を事物がそれ自身でもっている形と成り立ちにおいて眺めることを楽しむ態度

過去の宗教的権威や道徳的規範から離れポリスのあり方を相対化しようとする態度

人間が自然や社会に対して実践的な働きかけをしようとする態度

科学にもとづく世界観を確立するために経験を認識の唯一の根拠とする態度

問4 文中の下線部(c)に関して、下の宇宙開闢の様子を著した叙事詩の作者として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔4〕

「まず原初にカオスが生じた / さて次に胸幅広い大地（ガイア） 雪を戴くオリュンポスの頂に 宮居する八百万の神々の常久（とこわ）に揺るぎない御座なる大地と / 路広の大地の奥底にある曖々たるタルタロス / さらに不死の神々のうちでも 並びなく美しいエロスが生じたもうた」

ヘシオドス プラトン ホメロス アキレウス

問5 文中の空欄〔イ〕〔ウ〕に入る人名として最も適当なものを、次の～のうちから一つずつ選び、〔イ〕は〔5〕に、〔ウ〕は〔6〕に答えよ。

アナクシメネス エンペドクレス タレス

アリストテレス アナクシマンドロス ヘシオドス

問6 文中の下線部(d)のヘラクレイトスの言葉として、適当でないものを次の～の中から一つ選べ。〔7〕

戦いは万物の父、万物の王である

肉体は靈魂の墓場である

同じ川に二度入ることはできない

万物は流転する

問7 文中の空欄〔エ〕に入るパルメニデスの思想の説明として、最も適当なものを次の～の中から一つ選べ。〔8〕

感覚的な現象の背後にその根拠として不変不動な真実の存在があること
自然は地水火風の四元素と、愛と憎という二つの力によって成立していること
自然は不連続であり、永遠不変の不可分割体と真空から成立していること
経験し得るものだけが人間の認識を構成し、感覚的経験だけが真理であること

問8 文中の下線部〔A〕〔B〕がそれぞれ説明する哲学者の一人として最も適当なものを次の～の組合せの中から一つ選べ。〔9〕

- 〔A〕エレアのゼノン 〔B〕デモクリトス
〔A〕エレアのゼノン 〔B〕ヒポクラテス
〔A〕デモクリトス 〔B〕エレアのゼノン
〔A〕デモクリトス 〔B〕ヒポクラテス
〔A〕ヒポクラテス 〔B〕デモクリトス
〔A〕ヒポクラテス 〔B〕エレアのゼノン

問9 文中の下線部(e)に関して、ソフィストの一人プロタゴラスの主張として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔10〕(1993 センター本試験より)

いかなる場合でも自分の国家と国法に従え
人間こそが真理の基準である
実在とされるものはすべて常に変化している。
公共生活を避けて個人の幸福を目指せ。

問10 文中の下線部(e)に関して、ソフィストたちの主張の一つ「相対主義」の考えにあてはまる例として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔11〕(1990 センター追試験より)

「暑さ」それ自体、「寒さ」それ自体は存在しないが、真夏日にはだれでも寒いと感じ、真冬日は寒いと感じる。

真冬日がだれにとっても寒く感じられるのは、「寒さ」それ自体が存在するからである。

「寒さ」それ自体は存在するが、寒さの感覚は人によってさまざまである。

私にとっての寒さ、あなたにとっての寒さだけがあり、それをはなれて「寒さ」それ自体は存在しない。

第2問 次の文章を読み下の問い(問1～問11)に答えよ。(配点 22)

ギリシア哲学の新しい端緒は (a)ソクラテスによって開かれた。ソクラテスは徳の問題を取り上げ、人間が善くなるのは何によってかを問い、ここに哲学の問題は、自然から人間と行為の根拠の問題に移る。ソクラテスは、このことを問うことに人間にとってもっともたいせつなことがあると考え、(b)同じ市の人のだれかれとなく、行き会った人ごとにこれを尋ねた。この問いの行き着く帰結は、いつも、問われている当の人も、問うているソクラテスも、その答えを知らないということであった。しかし、(c)人間が自分にとってもっともたいせつなこと(善)をまだ知らないということを知り(無知の知)、これを尋ねることのうちに、人間にとってもっとも善いことがあるとソクラテスは知り、この探求をフィロソフィアとよんだ。それは、人間が自己を根拠づけている根拠へと、これをまだ知らないという無知の自覚を介して、向き直っていく魂の転回の道であった。

ソクラテスの弟子プラトンは、魂の転回によって、人が魂の目をもって内に見うるものにこそ真実在があると考え、これを (d)イデアとよんだ。これに反して、自己の外に、感覚を通じて触れうるものは、いつも生まれてくるとともに、いつも過ぎ去っていくもの、流動変化を免れない影のようなものである。見える感覚界から見えないイデアの世界に転向していく魂の動きが哲学であり、イデアはこの魂の転回を可能ならしめる根拠である。

問1 下線部(a)のソクラテスについて述べた説明として間違っているものを、次の～のうちから一つ選べ。[12]

彼はポリスの伝統的秩序が崩壊してきた時代に、普遍的な市民道徳の回復を目指した。

感情や意志に対して知性を重視する彼の態度を主知主義という。

彼は裁判から処刑までの間に自分の主張を『ソクラテスの弁明』という書物にまとめた。

彼はデルフォイのアポロン神殿の「ソクラテスに勝る知者はいない」という神託の神意を明らかにするために知者と対話した。

問2 文中の下線部(b)に関して、ソクラテスが行った真理の探究の方法の呼び名として、間違っているものを、次の～のうちから一つ選べ。[13]

皮肉法 産婆術 吟味法 問答法

問3 文中の下線部(c)に関して、プラトンの対話篇登場する人物が「無知の自覚」を表明したものとして最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[14](2003 センター追試験)

ソクラテスは自ら困難に行き詰まっては、他人も行き詰まらせてしまう。これまで大勢の人々に向かって徳について私が語ってきた話は、自分では立派な内容だと思っていた。ところが、今では徳とは何かと言うことさえ語るができなくなってしまった。

ソクラテスは相手に対して質問するばかりで、自分の方からは何一つ答えようとしなない。答えるよりも問うことの方が簡単だと言うことをよく知っているものだから、誰かに質問されると空とぼけて、あれこれ言いつくろっては答えるのを避けるのだ。

対話問答を通して議論を進めていくソクラテスの熱意は 称賛に値する。私は悪い人間ではないし、また私ほど嫉妬心から縁遠い人間はいないので、ソクラテスが知恵にかけて有数の人物の一人になったとしても、決して驚かないだろう。

ソクラテスという人は、いつもこうなのだ。ほとんど取るに足らないような事柄を問い返しては、相手を反駁(はんぱく)しようとする。もし誰かが何事につけてもこの人の言うことに同意してやったなら、この人ときたら、まるで若者のように大喜びするに違いない。

問4 ソクラテスは徳にもとづいて、善美の行いをなし得るのはどのような人物であると考えたか、最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[15]

勇気のある者 知恵のある者 政治を行う者 経済力のある者

問5 ソクラテスは、ポリスの神々を認めず、青年たちを墮落させていると告発されて、死刑を宣告されるに至った。この判決を不当なものとして逃亡を勧める友人もいたが、その助言を退け獄に留まった。ソクラテスがそのような態度を取った理由として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[16](1996 センター追試験)

脱獄することは、人間わざを超えた不可能なことであるにもかかわらず、それができるとするのは無知にほかならない。人はそのような無知に基づく行為はすべきでないから。

判決が不当なものであるにしても、脱獄すれば不正を犯してしまうことになる。そうすることは、人間にとって最も大切なものである魂をそこなうことにほかならないから。

自分が教えた青年たちが、国家の有力者に働きかけて、国法を改正して自分を解放してくれると信じていたので、それに希望をつないで、じっと待機すべきであるから。

友人の助言を考慮することは、知らなくてもよいことを知るという結果になり、もっと長く住きたいという欲望も増すことになるので、これに耳をかさないことの方が無欲なあり方を保てるから。

問6 文中の下線部(d)のアイデアについての説明として正しいものを、次の ~ の中から一つ選べ。[17]

生成変化する現象に内在する真実在で、人間は感覚によってそれを認識することができる。

思考や言葉によって理解されているものごとは、ありのままの真実ではなく、すべての事物は実体や本質を持たないということ。

哲学者の魂が求めるべき知の対象で、純粹の思考によってのみとらえうる本質的存在。

あまねく万物にゆきわたるもの、すなわち存在するすべてのものの秩序であり、理法であるもの。

問7 このアイデアを恋い慕う、価値あるものを求める愛のことをプラトンは何と呼んだか、最も適当なものを次の ~ の中から一つ選べ。[18]

エロース タナトス アガペー フィリア

問8 人間がアイデアを認識できる根拠としてプラトンが示した説として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[19]

魂の三部分説 二元論 想起説 価値形態論

問9 プラトンが理想とした「魂の三部分」の相互関係についての説明として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[20](1991 センター追試より)

理性によって欲望を隠蔽し、その欲望の発言を気概によって防止する。

理性が命じ、その命じるところを気概が補助し、欲望がそれに従う。

欲望によって気概を奮い立たせ、その気概が理性を生み出す。

理性、気概、欲望が互いに相殺しあうことによって、全体の均衡を保つ。

問10 プラトンの四元徳の組合せとして、最も適当なものを次の ~ の中から一つ選べ。[21]

理性・勇気・節制・正義 理性・意志・節制・正義

知恵・勇気・節制・正義 知恵・意志・節制・正義

問11 プラトンが理想とした政治のあり方として、最も適当なものを次の ~ の中から一つ選べ。[22]

財産政治 民主政治 哲人政治 神政政治

第3問 次の文章を読み下の問い(問1～問12)に答えよ。(配点 26)

アリストテレスは倫理学の分野では、ソクラテスや師プラトンの思想を多くの面で引き継ぎ、人間にとっての善さを探求した。プラトンにとっての善はイデアの世界にあると考えられていたが、アリストテレスは[A]が最高の善だと考え、とくに[B]の生活こそがそれにふさわしいと考えた。

また、彼は魂の二つの活動である認識と意欲に対応して、人間の徳を[C]に二分した。そのうち前者については、真理を認識する知恵の徳と思慮の徳に区分され、後者については (a)中庸にもとづいて倫理的な善し悪しの判断をすることを役割としている。そして、「人間はポリス的(社会的・国家的・政治的)動物である」と人間を規定するアリストテレスは、ポリスの中で生かされるべき (b)正義の徳と友愛の徳を特に重視した。

しかし、アリストテレスは徳についても学問についても、実践よりも理論を常に重視した。彼は、ある著作の中で彼はプラトンを批判し、イデアではなく具体的な個々の存在者である実体が真に実在するものであるとした。そして、実体の原理・原因について、たとえば、「丸い青銅」という実体の「青銅」は質料であり、「丸さ」は[D]であるというように説明する。これは、事物を静的に理解する説明だったが、事物の運動については、可能態が (c)現実態に転化する過程として説明した。

アレクサンドロス大王の東方遠征以降の世界帝国の成立は、様々な文化をもった人々は理性を持っているという点において同胞であるとする (d)コスモポリタニズムや個人としての生き方を重視する個人主義のような思想傾向を生み出した。

とくにキプロスのゼノンの創設したストア派は、禁欲主義の名で知られるとおり、理性(ロゴス)を重視し、厳しい克己心によって情念にかき乱されない、[E]という心の状態を理想とした。神的なロゴスの原理によって、世界は必然的に生起する。その意味においてロゴスは[F]であると言われる。ストア派はその後、ローマ帝政期の支配的哲学となり、ローマ皇帝や (e)解放奴隷出身の哲学者も出現した。

ヘレニズム期のもう一つの思潮、エピクロス派は (f)「快樂こそは幸福なる生活の始めにして終わりである」として、快樂によってもたらされる[G]という心の状態を生活の理想としていた。また、死を恐れることはないとする考えもエピクロスの思想である。

問1 文中の[A][B]に入れるのに最も適当な組み合わせを、次の～のうちから一つ選べ。[23]

A - 幸福, B - 政治

A - 快樂, B - 政治

A - 幸福, B - 観想

A - 快樂, B - 観想

問2 文中の[C]に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

[24]

知性的徳と習性的徳

気概的徳と節制的徳

知性的徳と節制的徳

気概的徳と習性的徳

問3 下線部(a)に関連して、アリストテレスの中庸についての説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[25]

快樂にふけるのでも、苦行に打ち込むのでもなく、両極端のどれにも偏らない中正な立場に立って修行に励むこと。

かたよりや過不足のない平常の道理で、天にもとづいて人間に本性として賦与される能力。

真理のような必然的内容があるわけではなく、算術的な平均でもない、時と所にふさわしい行為を選択すること。

多くの経験によって蓄積された知識によって、厳密に計測された最適な行為の基準。

問4 下線部(b)に関連して、調整(矯正)的正義の説明として最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[26](1992年センター本試験)

利益の飽くなき追求をその本性とする人間が、自分の財産や権利が損なわれるのをおそれて、互いの中で約束を取り結ぶこと。

個人の間様々な差異を一切考慮に入れないで、各人の地位や財貨の均等な状態を実現すること。

取引や契約その他、人と人との間のあらゆる利害関係において生じた各人の損失と不当な利益を、補償や処罰によって復元すること。

一つの共同体を構成する人々の間で、その能力や業績などに応じて、それにふさわしい名誉や財産を振り当てること。

問5 文中の[D]に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

[27]

ウーシア

ヒュレー

エウダイモニア

エイドス

問6 下線部(c)に関連して、この概念を説明するものとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[28]

質料が形相を実現し、具体的な姿をあらわした状態。

形相を実現する可能性を持つが、いまだ無規定な質料の状態。

実際の事実や状態によって構成される可能的な世界。

永遠に変化することのない普遍的な存在に満ちた世界。

問7 アリストテレスによる「悲劇」を定義した次の文章を読み，その趣旨と合致しないものを，下の ~ のうちから一つ選べ。[29]

悲劇とは，一定の大きさを備え完結した高貴な行為，の再現であり，快い効果を与える言葉を使用し，しかも作品の部分部分によってそれぞれの媒体を別々に用い，叙述によってではなく行為する人物たちによって行われ，あわれみとおそれを通じて，そのような感情の浄化（カタルシス）を達成するものである。 （アリストテレス『詩学』）

普通の間人が，卑劣さや邪悪さにゆえにではなく，何らかのあやまちのゆえに不幸になるストーリーが悲劇として優れている。

悪い人が不幸から幸福に転じるストーリーは，人情に訴えるものがなく悲劇に向かない。

よい人が幸福から不幸に転じるストーリーは，忌まわしいものと感じられるから避けた方がよい。

すぐれた悲劇のストーリーは，観客におそれとあわれみを感じさせないように配慮しながら，人間の不幸や幸福いづれにも共感できるようなものである。

問8 下線部(d)のコスモポリタニズムの説明として，適当でないものを次の ~ から選べ。[30]

共同体，民族，国家などを媒介とせずに，諸個人が直接に世界と結合さるべきであるとする思想。

独立した国民国家や民族固有の文化的伝統の違いを超えて諸民族・諸国家の協力・共存を図ろうとする思想

人間は世界という秩序を認識しなければならず，万人に共通する自然の秩序にのっとって生きることが必要であるとする思想。

世界は自己がその一市民である一つの国であり，人間は理性と愛とによって結ばれるべきであるとする思想。

問9 文中の空欄 [E] [G] に入れるのに最も適當のものを，次の ~ のうちから一つずつ選べ。 [E] については [31] に，[G] については [32] に答えよ。

アリストクラティア カロカガティア アパティア
デモクラティア アタラクシア メソテース

問10 文中の空欄 [F] に入れるのに最も適當なものを，次の ~ のうちから一つ選べ。[33]

運命 天声 創世 流出

問 1 1 下線部(e)に関連して、この人物の名前として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[34]

セネカ エピクテトス プロティノス マルクス=アウレリウス

問 1 2 下線部(f)に関連して、この思想の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[35](1994 センター本試験より)

感覚的な快楽の追求や、世間との必要以上の接触は、心の平静の状態を乱し、かえって人間にとって苦痛の原因となる。

心の平静は、感覚的な快楽の追求や、世間との接触を避け、神と合一することによって得られる。

感覚的な快楽の追求や、世間との必要以上の接触は、心の平静を維持するためになすべき中庸の実践を妨げる。

心の平静は、感覚的な快楽の追求や、世間との接触を避け、大自然の中の原始的な生活に戻ることによって得られる。

第4問 次の文章を読み下の問い(問1～問2)に答えよ。(配点 10)

前2千年紀初頭に、神に選ばれたヘブライ人遊牧民の族長[A]は、彼の子孫にカナン(のちのパレスティナ)の地を与えるという神の約束を受けた。この契約に基づき、カナンはヘブライ民族の約束の地になった。[A]の孫[B]は、別名をイスラエルと称し、のちに12部族の名祖となった12人の子らの父であったが、飢饉を逃れてエジプトへ移住した。その子孫がエジプト人の奴隷にされて苦役に服したときに、族長の神と名の主の啓示を受けた[C]が、彼らを率いてエジプトを脱出した。彼らは紅海でエジプト軍の追跡から奇跡的に救われたのち、シナイ山において主と契約を結んだ。この契約に基づき、主はイスラエルの唯一の神、イスラエルは主の選民となった。シナイ契約を確認するために、[C]を仲介者として与えられた十戒を中心とする律法は、民族的・宗教的共同体として成立したイスラエルの生き方を決定する基本法となった。

前13世紀末に、イスラエル人はカナンに侵入して約束の地に定着したが、前1000年ころ、ユダ族出身の[D]が王となり、シリア・パレスティナ全域にまたがる大帝國を建設し、エルサレムを首都に定めた。その子ソロモンが、エルサレムのシオンの丘に主の神殿を建立すると、主は[D]家をイスラエルの支配者として選び、シオンを主の名を置く唯一の場所に定める約束をした、と理解された。ここから、メシア(原義は即位に際して油を注がれた王)が、世の終りに[D]家の子孫から現れるという期待と、エルサレム(シオン)を最も重要な聖地とする信仰が生じた。

前586年にユダ王国が滅亡し、エルサレム神殿が破壊されて古代イスラエル時代は終わる。その後約半世紀続いたバビロン捕囚の苦難を通して、古代イスラエルの宗教的遺産を民族存続の基本原則とする共同体「ユダヤ人」が成立した。

問1 文中の[A]～[D]に入れるのに最も適当な人名を、次の～のうちから一つずつ選べ。A [36], B [37], C [38], D [39]

イサク	モーセ	エレミア	アブラハム
イザヤ	ダビデ	ヨセフ	ヤコブ

問2 ユダヤ教の説明として最も適切なものを、次の～のうちから一つ選べ。[40]
「嘆きの壁」というソロモンの造った神殿の壁が崇拜の対象となっている。
六日で世界を創造し七日目に休んだ神になって日曜日は安息日である。
ヘブライ語聖書とギリシア語訳された旧約聖書では巻の配列が異なっている。
過越の祭りはユダヤ人たちがバビロン捕囚から解放されたことを祝う祭りである。

第5問 次の文章を読み下の問い(問1～問10)に答えよ。(配点 20)

バビロン捕囚後に国を再建したユダヤ人は、紀元前1世紀後半には、ローマの支配下におかれて苦難をしいられることになった。そのとき、民衆の間には救世主への待望が高まったが、指導者たちは、むしろ、律法の一つひとつのおきてを厳格に守ることこそ、神の祝福と民族の栄光を近づける唯一の道であると教えた。しかしこの律法主義は、一方でおきてに型通りしたがえばよしとする形式主義を生み、他方でおきてを守ることでできない多くの人々を、罪人、けがれた者として軽蔑し差別する結果を招いた。

このような宗教的伝統の中に登場し、神の (a)福音を宣教したのがイエスである。律法主義に立つ当時のユダヤ教が、神をはるか天上の近寄りがたい存在とみなしていたのに対し、イエスは、神を身近に感じながら、「時は満ちた、神の国(神の支配)は近づいた」と語って、神の救いやめぐみが、すでに人々の身近にあると説いたのである。

イエスにとって、神は何よりも (b)愛の神であった。彼は、放蕩のかぎりをつくし、落ちぶれて帰ってきた息子をやさしくだきかかえる [A] に神をたとえて、神の愛がどんなものであるかを教えた。

もちろん彼は、愛の神について単に言葉で語っただけではない。彼は安息日に病人をいやしたり、軽蔑され差別された徴税人や罪人と食卓をともにするなど、当時のおきてでは許されない行為を通じて、愛がどのようなものであるかを具体的に示した。

このようなイエスの教えと行為は、宗教的あるいは社会的に差別された人々やさまざまな悩みに苦しむ人々に、文字通り福音として、深いなぐさめと希望を与えたのである。

問1 下線部(a)に関連して、福音の説明として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[41]

- | | |
|------------|-------------|
| イエスの言葉と行動 | 実現しつつある神の支配 |
| ユダヤ教の律法の廃止 | 喜ばしい知らせ |

問2 下線部(b)に関連して、神の愛にならって人が行うべき隣人愛の説明として、最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[42](1990 センター本試験より)

- 人間は、思想・心情の同じ人々を兄弟姉妹のように慈しむべきだ。
- 人間は、家族をはじめとして、近隣の人々と友好的に生活すべきだ。
- 人間は、日常接するすべての人を大事にし、互いに親しみ親切にしあうべきだ。
- 人間は、困難にあい助けを求める人には、その必要とするものを与えるべきだ。

問3 文中の空欄 [A] に入る言葉として、最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[43]

- | | | | |
|----|----|----|------|
| 母親 | 父親 | 兄弟 | 飼い葉桶 |
|----|----|----|------|

問4 イエスの死と復活に対するキリスト教の解釈について、適当でないものを次の ~ のうちから一つ選べ。[44]

復活したイエスは自分を十字架に掛けた者たちを許さず罰を与えた。

イエスの十字架上での死は人類の罪の贖いとしてのいけにえである。

イエスの復活は肉体の死が終わりではなく永遠の命にあずかる希望を意味する。

イエスの死と復活は旧約聖書のイザヤ書の中に預言されていた。

問5 福音書の中のイエスの言葉として適当でないものを次の ~ のうちから二つ選べ。
[45][46](順不同)

あなた方は敵を愛しなさい。

目には目を歯には歯をもって償わなければならない。

人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

真珠を豚に投げてはならない。

心の貧しい人は幸いである。天国は彼らのものである。

人は安息日のためにあるもので、安息日が人のためにあるのではない。

問6 下の出来事は何をあらわしているか、最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[47]

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれにあらわれ、一人一人の上にとどまった。(使徒言行録2:1-3)

イエスの昇天 イエスの復活 聖霊降臨 パウロの回心

問7 キリスト教の使徒の一人で、イエスの復活を信じ、愛の教えを広めるために未知の土地に足を踏み入れていった人物として最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[48](1996 センター本試験より)

アウグスティヌス パウロ イザヤ トマス・アキナス

問9 12使徒の長、ペテロのエピソードとして適当でないものを次の ~ のうちから一つ選べ。[49]

イエスが捕らえられたときイエスを三度否定した。

イエスの言葉と行いの記録を福音書に著した。

イエスにより教会の岩とされ、天国の鍵を授けられた

ガリラヤで漁業に従事していたが、イエスに出会い弟子に加わった。

問10 神の人間に対する無条件で無差別な愛をギリシア語で何というか、最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[50]

カリタス エロース アガペー フィリア